

WEBセミナー
参加無料

にんようせい 妊孕性温存を目指した がん・生殖医療

京都府立医科大学では、がんプロフェッショナル養成プランの事業の1つとして、一般市民の方々を対象に、公開講座を実施しております。

がんの治療では、手術や抗がん剤治療、放射線治療等の影響で、性別を問わず妊娠するために必要な能力が低下したり、失われることがあります。今回は、将来自分の子どもを授かる可能性を残すために、卵子や精子、受精卵を凍結保存する「妊孕性温存」という選択肢をテーマに実施いたします。

WEBセミナー 講演動画コンテンツ

- 1, 「がんサバイバーに対する妊孕性温存への取り組みと課題」
女性生涯医科学（産婦人科学教室） 教授 森 泰輔
- 2, 「妊孕性温存療法の種類と特徴」
女性生涯医科学（産婦人科学教室） 助教 沖村 浩之
- 3, 「当院におけるがん・生殖医療の実際」
女性生涯医科学（産婦人科学教室） 病院助教 藤井 麻耶

※ 講演は、YouTubeにてオンデマンド配信いたします。ご都合の良いときに、パソコンやスマートフォン等でご覧いただけます。

配信期間

令和5年 2月4日(土)~3月5日(日)

視聴申し込み方法 (申し込み期限：3月5日(日)まで)

下記のURL又は右のQRコードから、視聴申し込みフォームにアクセスし、お申込みください。お申込みいただいた方に、講演動画のオンデマンド配信ページをお知らせいたします。

<https://forms.gle/YU5r4xVfhVWXWUYd7>



▲視聴申し込みフォーム
QRコード